



①「黒織部茶碗」高さ8cm、径12cm ②「黒織部杓形鉢」高さ7.5cm、24.5×18.5cm ③2点とも「黒織部鉢」高さ5cm、径21.5cm・径22cm(左) ④2点とも「織部灯り取り」高さ40cm、径12cm ⑤2点とも「織部椅子」高さ40cm、18×23cm ⑥「絵織部壺(大雄山)」高さ58cm、径32cm



教室の会員と仁王門を散策する西さん(中央)



地元の人が多く通う

南足柄・円居窯 まろい
西静恵さん
 まどかに集いてつくる
 古九谷の再興を目指した
 小野窯の地で生まれ育った
 西静恵さん。
 九谷の窯元に就職予定だったが、
 急きよ窯業職業訓練校に、
 独立してからは、
 南足柄の大雄町に窯を築いた。
 目指しているのは、
 織部や黒織部などによる
 独自の世界観の作域。
 主宰する陶芸教室でもその方針を
 貫いている。

PROFILE
 石川県小松市に生まれる
 1984年
 愛知県立窯業職業訓練校修了
 御殿場の窯元で研鑽を積む
 1989年
 小田原江の浦で独立
 1991年
 南足柄大雄町に移転
 1993年
 個展(ナックグレース館)
 1994年
 個展(アオキ画廊)
 1995年
 個展(東京大丸)
 1996年
 個展(小田急百貨店)
 以後、神奈川、東京、静岡などで個展
 近年小田原文化芸術展参加
 2012年
 良寛こころの歌展に「歌ごころを器
 に」を出品



窯名は良寛の歌から



焼成は0.4立米(右)と0.2立米のガス窯で行うが、後者は主に素焼き用



個展用の食器を窯の前で天日干し

したように、西さんも良寛に導かれて農村の雰囲気が残るこの地に窯をすえたとと言えるかも知れない。円居窯の陶芸教室は、月の第1週と第3週の火曜と土曜に開かれている。また、2年に1度展示会を開催しており、今年で12回を越えた。開窯のときから四半世紀も通う吉田眞智子さんを筆頭に、21年の加藤邦子さんと重田サツ江さんや村上道子さん、19年の椎野千代子さんらが、火曜は丸一日、土曜は半日だけの時間割に従い、まさに作業台に「円居」となって語り合ったりしながら作陶のときを

楽しんでる。西さんはその一人一人の許を周りながら陶芸指導を行っているが、自分が作りたいものを作るといのが教室の基本方針。従って、他人と同じものや似たものを作っている人は誰一人いない。

独自の高みへ

西さんは独立当初から、生まれ故郷・小松の粘土にこだわって取り組んできた。小松の瓦屋さんがよく使っていた土を数種類、原土のまま分けてもらって処理をした粘土に、小田原や南足柄名産の足

西さんは観光客や夏休みの子どもたちに陶芸を楽しんでもらう観光陶芸を営む御殿場の富士見窯に就職。かつて加藤唐九郎の窯を手伝っていた指導者の許で、4〜5人の仲間とともに住みこみで働き、空いている時間に焼き物に励んだ。また、年に2〜3回行われていた登窯焼成も実践し、4年後に小田原で独立した。

「円居」となって作陶

その2年後、西さんは縁があった南足柄の大雄町に工房を移し、一時小田原に戻ったものの、再び大雄町に戻り現在に至る。仁王門から歩いて10分ほどのところにあった最初の工房は、お茶屋さんの母家だったところ。藁葺き屋根の前には田んぼがあり、西さんが尊崇する良寛の歌と同じ風景が広がっていた。

「思うどち 門田の畔に円居して夜は明しなむ 月の清きに」窯の名前も良寛のこの歌から頂戴したが、全国に4千余りの門流をもつ大雄山最乗寺を開いた了庵慧明禅師が、1394年一羽の大鷲に導かれて同地に大寺を建立



思い思いの作品を制作する(左から時計回りに)椎野千代子さん、吉田眞智子さん、村上道子さん、千田富美子さん、西さん、鶴澤昭彦さん、加藤邦子さん、重田サツ江さん、石塚栄さん

急ぎよ窯業職業訓練校に

織部による斬新な意匠の生活雑器やオブジェ、それに独自の黒織部の食器などで知られる西静恵さんの円居窯は、伊豆箱根鉄道大雄山線の終着駅・大雄山駅から南に10分ほど歩いた大雄山最乗寺の仁王門の前にある。母親が神奈川生まれだったことが縁となりこの地に窯を築いたが、西さんは実は父親の生まれ故郷である石川県小松市出身。1819年に古九谷の再興を目指して始まった小野窯の地で生まれ育った。

祖父は九谷焼の絵付け師であったが、父親は小松市を代表する大手企業のサラリーマン。焼き物を目指す家庭環境ではなかった。しかし西さんはなぜか陶芸が好きになり、益子を初めとする日本中の窯元を訪ね歩くのが趣味だった。高校卒業後はOLを10年ほど経験した後、九谷焼の窯元に就職することを決めていたが、瀬戸ものまつりで窯業職業訓練校のことを知り、急ぎよ変更して入ることにした。



絵付けする椎野さんは陶歴19年



自宅で使う鉢を制作する石塚さんは陶歴1年半



加藤さんとお付き合いは21年になる



始めてから6カ月の鶴澤さんはサラリーマン



21年間、近くから通っている重田さん